

森の館通信



ヤマモの卵

ヤマモ *Antheraea yamamai*

ヤマモの幼虫は、どんぐりを実らせる木の葉を食べ育て、緑色の糸を吐いて繭を作ります。晩秋に羽化した成虫の命は1週間ほどですが、その間に交尾を済ませ、堅い殻に守られた卵を小枝に産み付け、春まで冬眠します。(うっしー)

スタッフのつぶやき

11月に入り、続々と冬鳥たちが姿を見せ始めました。木の实をつついたり、なわばりを争ってケンカをしたりと、生き生きと動き回る様子は、観ると虜になる事間違いなし！と思っています。

イベント「森の手入れ」では、たいてい一つの場所で草刈りや落ち葉かきを（それから生きもの探しも）します。作業をしていると、初めは人が来たことに驚いて散った鳥たちも、再び訪れて食事を始めたりすることも。そんな時は大チャンス！剪定ばさみを双眼鏡に持ち替えて、そーっと観察してみます。11/23の実施時には、渡ってきたばかりのカシラダカが、地面をつついて食べ物を探しているところが観られました。鳥に限らず、たくさんの生きものが暮らしているようにするための「森の手入れ」。散策とは一味違った生きものとの触れ合いが楽しめます。

(さんこ)



←カシラダカ観察中！

今月のオススメイベント

12月11日(日)、17日(土)
10:00~12:00

「みつばちキャンドルを作ろう」

ハチの巣からとれたミツロウを使って、どんぐりや木の枝などで飾り付けてオリジナルのクリスマスキャンドルを作りましょう。

対象：小~中学生
参加費：400円
定員：各回10名
*受付中

1月4日(水)~9日(月・祝)
10:00~15:00

「お正月もふれあいの森で遊ぼう」

「コマの絵付け」・「ミニ凧作り」などのお正月限定の工作や、羽子板の貸し出し(無料)をします。

対象：どなたでも
参加費：200~300円/1作品
定員：特になし
*当日森の館にて直接受付

さんこの最近見た鳥の話が聞ける



さかいせん もり もり やかた
「堺自然ふれあいの森・森の館」の
さんこがスタッフに見せてね!



もり ようす はっしんちゅう
森の様子を発信中! Facebookもチェックしてね!

堺自然ふれあいの森 Facebook 検索

木の实みつけ！

寒さに負けず、森に出掛けると色々な木の实が見つかります。今回は、森の館近辺で見つかる木の实を紹介します。
(木の实は森を育みます。実際に木の实を食べるのはやめましょう。)

ヒサカキ (ツバキ科)
常緑 高さ1~10m
黒い5mmほどの木の实を葉のわきに付けます。実をつぶすと青い汁とともに1mmほどの種が多数出てきます。
木道や尾根みちで見られます。



木の实をつぶすと...

フユイチゴ (バラ科)
常緑 高さ30cm
葉の根元に1~10個の木の实を付けます。果実は甘酸っぱく食べられます。
里みちや第2豊田川みちで見られます。

カマツカ (バラ科)
落葉 高さ5~7m
枝の先に2mmほどの楕円形の木の实を付けます。木の实は食べるとほのかにリンゴのような甘みがあります。
ヤマガラ平や見はらし広場で見られます。

ウツギ (アジサイ科)
落葉 高さ1~3m
枝の先に、丸い木の实をたくさん付けます。枝を揺らすと2~3mmの細かな種が飛び出します。
第2豊田川みち沿いで見られます。

シリブカガシ (ブナ科)
常緑 高さ10~15m
大きさ2cmほどのドングリをたくさん付けます。ドングリは磨くと光ります。
木道や東西のおじいさんの木で見られます。

ここで紹介した木の实はほんの一部です。木の实は種類によって、形も色も様々です。色々な木の实を観察してみてください。名前がわからないときは、森の館へ！
byわっち



堺自然ふれあいの森

〒590-0124 大阪府堺市南区畑1740
TEL: 072-290-0800

開園時間: 9:00~17:30 (3~10月)
9:00~16:00 (11~2月)
休園日: 月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始

<バス>
泉北高速鉄道「泉ヶ丘」駅 南側②番のりば「鉢ヶ峯行き」
「公園墓地北口」下車 徒歩 約1,200m
※日・祝は一部「堺公園墓地行き」もあり(「自然ふれあいの森前」下車すぐ)
<車> 駐車場無料
阪和自動車道 堺ICより泉北ニュータウン方面へ約7.5Km
「堺公園墓地」を目標にお越しください

●「堺自然ふれあいの森」の案内板



*ウェブサイトへGO!

イベント情報や最新の自然情報が閲覧できます。

堺自然ふれあいの森 検索

